

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	世界経済と日本 (The World Economy and Japan)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	映画で学ぶ世界経済論		
担当者名 (Instructor)	田村 考司(TAMURA KOJI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

大きく変わりつつある世界経済の仕組みとダイナミズムを学び、グローバルな経済センスと思考を育む。経済の知識がない初心者の受講が前提である。

Students will learn about the mechanisms and dynamism of the world economy that is changing dramatically, and develop a global economic sense and thinking. It will be assumed that the students are beginners with no knowledge of the economy.

授業の内容 (Course Contents)

グローバル化が進行する中で、日本経済の動き、ひいては私たちの生活が、目には見えにくい世界経済の動きといかに密接につながっているのか理解するために、幾つかの映画を取り上げて、世界経済論の基礎的な知識と考え方について講義する。

In order to understand how closely the movement of the Japanese economy, and hence our lives, is connected with the movement of the invisible world economy as globalization progresses, we will take up some movies and provide lectures on the basic knowledge and ideas of world economics.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス～今、世界経済で何が起きているのか
2. 「おいしいコーヒーの真実」(マーク・フランシス、2006年)の紹介と鑑賞
3. 「おいしいコーヒーの真実」を通じて、国際貿易について学ぶ(1)フードシステムと自由貿易体制
4. 「おいしいコーヒーの真実」を通じて、国際貿易について学ぶ(2)国際貿易体制の基礎知識
5. 「おいしいコーヒーの真実」を通じて、国際貿易について学ぶ(2)国際貿易体制の基礎知識(続き)
6. 「おいしいコーヒーの真実」を通じて、国際貿易について学ぶ(2)国際貿易体制の基礎知識(続き)
7. 「おいしいコーヒーの真実」を通じて、国際貿易について学ぶ(3)平等・互恵の貿易体制を求めて
8. 「ザ・トゥルー・コスト」(アンドリュー・モーガン、2015年)の紹介と鑑賞
9. 「ザ・トゥルー・コスト」を通じて、多国籍企業について学ぶ(1)グローバル・サプライチェーンの形成
10. 「ザ・トゥルー・コスト」を通じて、多国籍企業について学ぶ(2)多国籍企業の基礎知識
11. 「ザ・トゥルー・コスト」を通じて、多国籍企業について学ぶ(2)多国籍企業の基礎知識(続き)
12. 「ザ・トゥルー・コスト」を通じて、多国籍企業について学ぶ(3)多国籍企業の社会的責任を考える
13. 「ダーウィンの悪夢」(フーベルト・ザウパー、2004年)の紹介と鑑賞
14. 全体のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

毎回の講義終了時に指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/授業内レポート(1回目)(25%)/授業内レポート(2回目)(25%)

テキスト (Textbooks)

資料を配布する。テキストは使用しない。

参考文献 (Readings)

講義時に指示する。

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)

